

科目名	情報通信技術と技術革新戦略
担当者	田村 傑
配当学期	春学期
単位	2単位
授業概要	<p>Innovation に対する基本的な知識について論じます。併せて、イノベーションの実際の実例を取り上げて、社会的なレベルおよび企業レベルにおいて科学的な発明・発見 ‘Invention ‘が技術革新 ‘Innovation ‘に至る上で必要な事項についての理解を得ることを目的とします。また、“死の谷“が存在する理由についての理解を深めることにより、乗り越えるための解決法について理解を深めたいと思います。</p> <p>シリコンバレーの形成、インターネットの成立、マイクロソフト OS、IBM PC、及び APPLE PC の開発に関する事例を取り上げ、情報通信技術がイノベーションへ展開するプロセスについての理解を深めたいと思います。加えて、遺伝子組み換え食品に関する事例では、新しい科学技術の成果（遺伝子操作による食物増産）が社会に受け入れられる際に考慮する必要がある、消費者、マスコミ、学会等のステークホルダーとの関係について理解を深め、サイエンスコミュニケーションの意義及び科学技術の社会的受容について理解を深めたいと思います。</p>
授業の到達目標	技術イノベーションについて理解を得ること。
授業計画	<p>(1) 第 1 回：ガイダンス</p> <p>(2) 第 2 回：研究開発の基本概念</p> <p>(3) 第 3 回：イノベーションとインベンション</p> <p>(4) 第 4 回～5 回：「シリコンバレー」</p> <p>(5) -</p> <p>(6) 第 6 回～8 回：「パーソナルコンピュータ」</p> <p>(7) -</p> <p>(8) -</p> <p>(9) 第 9 回～11 回：「インターネット」</p> <p>(10) -</p> <p>(11) -</p> <p>(12) 第 12 回～14 回：「遺伝子組み換え食品」</p> <p>(13) -</p> <p>(14) -</p> <p>(15) 第 15 回：まとめ</p>
教科書	授業において資料を配付する
参考文献	「科学技術白書」（文部科学省）
成績評価方法	授業参加と出席票の内容（60%）、期末レポート（40%）
関連 URL	http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho 「科学技術白書」
備考	理数的な科目の事前履修は必要ありません。